

資料室



[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [経営対策活動](#) | [企業・民主的労働組合の意識転換を!](#) ①

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

組織活動

組織運営と法律

労働安全衛生

経営対策活動

教育・宣伝活動

労働時間をめぐる諸問題

教育活動

選挙活動

組合組織（公務員）

教育カリキュラム

🔍 [キーワード検索はこちら](#)

企業・民主的労働組合の意識転換を! ①

1. 左翼的運動は経営全体の問題と認識すべきである。

職場の共産党・左翼の問題を人事・労務の仕事だと視野の狭い次元で捉えるな、といたい。

企業内で組織だった動きや問題がないことから、不平不満従業員の単なる労務上の問題として「人事・労務」がやれば良い、と考える企業が大半であると思う。

ところが、である。政治の分野ではこのところ共産党が躍進を続けている。共産党・左翼の戦略・戦術は実に多様・多岐にわたり、綿密に計算されている。

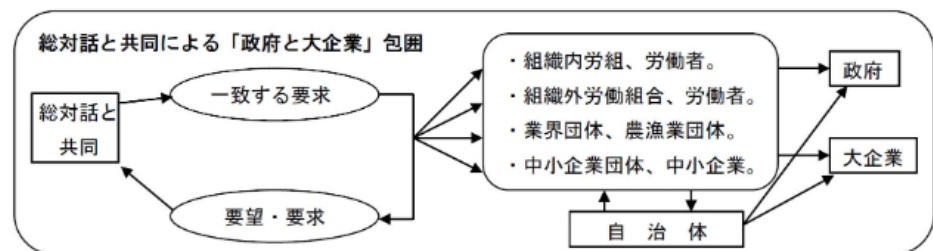
今日の企業経営は、国の産業政策や国際的・外交分野における政治的・社会的な関係抜きに企業活動は成立し得ない状況となってきた。政治や社会の意向に影響を受ける現状にある。したがって、企業活動は、いまやすぐれて「政治的・社会的な活動」となっている。

と言うことは、共産党の躍進は、政治的・社会的に企業包囲網を形成できる状況が作り出されてきていると捉えることが出来る。

共産党・全労連は、かつて総対話と共同による「政府と大企業」包囲方針を立て、総対話と共同活動として、「一致する要求で共同行動」という戦術を発展させてきた。

この「一致する要求での共同行動」が今日では「一点共闘」として進化しているのである。（下図：包囲活動チャート図参照）

包囲活動チャート図



なお、全労連は、平成15年に「組織拡大推進基金」の創設方針を決定し、当面3億円積立として活動を開始した。

このように、単に労働運動、労務上の問題として、昔の民主化闘争当時の感覚そのままでは、大変なことになる危険があるのである。

共産党・左翼の戦術は、企業内の労働・労務上の枠を超え、政治的・社会的な力をつけ、企業及び民主的な労働組合へ攻撃を仕掛け、内部浸透を図る魂胆である。

このように戦術も時代と共に巧妙化し、多種多様であり、単なる労務上の問題と認識しては、大きなミスマッチを起こすことになる。

したがって、共産党・左翼に対する対策・対応も、「経営全体の問題と認識し取り組む」ことが必要である。

会社に左翼がないから、と問題意識を失くしては、政治的・社会的包囲のなかで経営及び民主的労働組合は弱体化し内部浸透・侵食を許すこととなるのである。

同じあやまちを繰り返さないためにもこの種の問題は経営内に位置づけ対応を行うことである。

[▶ サイトマップ](#)
[▶ このサイトについて](#)
[▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

• [TOP page](#)

• [資料室](#)

• [イベント情報](#)

• [講師を探す](#)

• [関連リンク](#)

